

十月に入り、秋本番という気候になってまいりました。母木の家では、
ヒガンバナが咲き盛り、菊が咲き出すとしております。この度は母ともども
大変お世話になりました。お礼が遅くなり、本当に
申し訳ありませんでした。

皆様は母のようが^善善者も心折れたり、砂まじりして下エリとも
心強かったです。私は素人ですのう。できはきとした処理や、どんと構えた
プロの様子に学ぶことが多かったです。人をもっと大切にしろ、しゃもこと
かわりました。だくんの家庭を訪問していろいろしゃもことしゃり、皆さん
とも頼りにしていることを存じます。私は母のやりたいことを第一にも考
えていました。今思うと、私ペースです。たよりに思います。妹や娘か
らうももっとのんびりした方がいいのと言われませんでした。必死だったのが
しゃりね。後悔するところが沢山ありますが、自分には、米一杯言ったと言
いかせております。

No1

母がせうなって二週間経過しました。いろいろが手詰まりやらやるべきことが結構ありました。でも十月六日に名古屋へ帰ることに決まっから、疲れがどっと出まきたのか、今までの元気がなくなってきた。夫には「ちょっとうつに悩むからネ」と申しました。うつは治さるります。腰痛もあり、思うように動けないことから気が滅入っているのさしやう。名古屋に戻りましたら、早く自分を癒りもよし、元気が来たいと思っております。岐阜の郡上の山荘も庭がきれいに綺麗でしたし、来年の六月には家族がハワイへ行く計画もあります。長い人生のうちの一年位、たらたらしてもいいですね。

さく、大学病院からの紹介で岡部医院のことを知りました。在宅で母の介護をするのは不安もありました。今思うと、母にもっとも家族にとってもいいやり方だったと断言できます。最後まで家族の一員としてあの世に立った母は幸せだったと思ひます。

私も何年か、新任教師の当番にあたりました。母を教えるから

No. 3

内田裕子様へ
お父さまへ

依頼です。また、横断授業をしたり、指導案の書く方を教えたりの。国語の
 または教育大を出ていも人もいものに人間失格の人が多いです。子供や親
 の気持ちをわかってあげず、言葉もきついでいす。そのため、愛知米では他の職業
 を一年間経験するよりが制度にかましました。(全員は知りませんが)
 若林訪問看護ステーションの皆さまは、ともしてもしっかりとしゃべりました。
 出血等でおろおろしても、私のお話をよく聞いて下さり、適切にアドバイスを
 いただきました。母のお世話を無事に終えることができました。皆さま
 のおかげです。内田さま、伊藤さま、佐藤さま、矢口さま、そして密使諸君、心
 掛けて下さった皆さま、本当にありがとうございました。心からお礼を申し上げ
 げます。お仕事は大変かと思いますが、これからも多くの皆さまのため
 に頑張ってください。母はヒカンバナが咲く頃まであります。きっと先
 祖さまに見守られるあの世へ行ったこととしよう。お礼が遅くなり申し
 訳あります。ごめんなさい。いりて、お体を大切になさり、活躍下さい。